

清流

題字：芳野 充

令和5年6月30日

第78号

発行所 加来不動産㈱

発行者 加来 寛

北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに

静かに

清流のように

素直さが大切

歳を重ねるなかで、おおくの人が「素直さが大切だ」と耳にしたのは、一〜二回ではないと思います。例えば、経営の神様とうたわれた松下幸之助氏は「人が成功するために必要な資質が1つだけあるとすればそれは素直さだ」と述べ、全日本女子バレーボールをロンドン五輪銅メダル獲得への礎をつくった柳本晶一監督は、「一流のアスリートの条件は、素直な心と、感謝の気持ち」と口にし、かの有名なアインシュタイン博士は「素直さは最大の知性」との言葉をのこしています。わたしが学んでいる素直学というものも、「素直な心を学ぶ」ことを主体としている学問です。

そもそも「素直」とはどのような意味なのでしょう。広辞苑で調べてみると、①飾り気なくありのままなこと。曲がったり癖があったりしないさま。②心の正しいこと。正直。③おだやかで人にさからわないこと。従順。柔和。④物事がすんなりゆくこと。とどこおりないさま。⑤技艺などで、癖がなく、すっきりしていること、とあります。

ここで気を付けたいのは、①の「飾り気なくありのままなこと」は、つぎにつながる「曲がったり癖があったりしないさま」とワンセットだと思えます。そうでないと極端な例ですが、ありのまま行動した結果、頭にきたら人を殴る、物を壊す。おしゃくしゃするから弱い者をいじめる。それは素直さではないはず。

わたしは素直学で素直さとは「逆らわない生き方」で次の二つのことをいうと学びました（大前提は、人間の良心にそむくことや犯罪行為ではないこと）。

一、人のいうことを「はい、わかりました」と聞き入れることができる
二、困ったことが起きても「ありがとうございます」と受け止めることができる

このようなことを口にする、素直さとは人に媚びへつらい、弱々しく感じるかもしれません。しかし冒頭であげた三人が口にする素直さとは、正にこの二つのことを指しているのではないのでしょうか。

素直な人は、世の中の困った問題を聞き入れ、それを解決することで経済的發展につなげ、素直な人は、相手のアドバイスを受け止め行動にうつしていくことで、一流のアスリートに近づいていき、素直な人は、どんな失敗や困難も自分へのメッセージだと受け止め、あくなき挑戦をつづけ、世の中の役に立つ発明を生み出す。

言うは易し、行は難し。分かっているが、なかなかできないのがわたしたち人間です。しかし素直な心を意識し、少しずつそれに近づいていく工夫と努力を重ねていきます。

加来 寛

